



神を其の聖所に讃め揚げよ
 彼を其の有力の穹蒼に讃め揚げよ
 其の権能に依りて彼を讃め揚げよ
 ……(中略)……
 絃と簫とを以て彼を讃め揚げよ
 和聲の鉞を以て彼を讃め揚げよ
 大聲の鉞を以て彼を讃め揚げよ
 凡そ呼吸ある者は主を讃め揚げよ

(第150聖詠)



仙台正教会
 教会だより

2024年
 11月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一〇〇

TEL 〇二二二二五二七四四

FAX 〇二二二四一三〇八〇

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

仙台ハリストス正教会150周年を記念して

聖書や教会の伝統の中で使用されている数字には、さまざまな意味が込められている。例えば「3」は三位一体を表すなど。さて、仙台ハリストス正教会150周年を記念して「150」という数字の意味を探してみたい。

「150」の前に、その十分の一である「15」について、エルサレムにあった神殿に登るための階段が15段だったと言われている。神殿は、神の臨在される場所である。つまり、「15」は神に近づくための数と言える。

聖詠(詩編)の中に、「登上の歌」(「都にのぼる歌」とも訳される)という歌集があり、それが神殿の階段の数に合わせて15編にまとめられている。その第119聖詠(第120編)～第133聖詠(第134編)は、正教会において「品第詞(ステペンナ)」と呼ばれる祈祷文の元になっている。「ステペンナ」は、聖神の力によって私たちが神に近づいていくことがテーマになっており、言うなれば「15」という数字は「神成(テオシス)」を表す数である。

そして、「150」と言えば、聖詠(詩編)の全体の数と同じであることが思い起こされる。聖詠は「教訓」「痛悔」「感謝」そして何よりも「讚美」の歌で満ちている。つまり、「150」という数字は「神への讚美・感謝」を表す数である。特にその「第150聖詠」は、「讃め揚げよ(原語では「ア Rilui [ヤ]」)」というリフレインで出来ている。開教150周年を迎えた私たちも、「神への讚美と感謝」を捧げて、より神に近づきたいという思いを新たにしよう。(D)



仙台正教会150周年記念祭



10月27日(日)聖体礼儀・「いくとせも」・記念祝賀会と記念講話

10月27日(日)、仙台ハリストス正教会150周年記念祭が開催された。企画を始めたのはコロナ禍の只中であり、第五類になったとは言えウイルスが消滅したわけでもないことから、盛大にはなく、仙台教会管轄の信徒のみで落ち着いた雰囲気の中、行なわれた。

聖体礼儀後、仙台正教会のこれまでの道のりに感謝し、これからの発展を祈願して「いくとせも」が祈られた。聖堂で記念写真を撮った後、会館四階において記念祝賀会が開かれた。長司祭ダヴィド水口神父の挨拶に引き続き、アキラ笹川執事長の乾杯の音頭で食事が始まった。

そして記念祭のメインイベントとして「画像で見る仙台正教会の歴史」の講話が水口神父によって行われた。プ



ロジエクターで仙台正教会150年の歴史における写真、地図、資料などが投影された。百枚以上の画像を見ながら、知らなかった事実や、時には懐かしい写真など、参加者にも時折お話を伺いながら、有意義な時間が過ぎて行った。

なお、その画像の数々から厳選された30数枚がパネルとなつて会場の壁に掲示され、またいろいろな資料も展示された。このパネル展示はしばらく続けられる予定なので、参拝の後にぜひご覧いただきたい。

150周年の記念品として、仙台正教会の三代に亘る聖堂の写真がデザインされた千円分のオリジナル・クオカードが作成された。クオカードとはコンビニなどで使えるプリペイドカードのことで、使用後も手元に戻るため、記念品として取っておける。台紙もオリジナル作成。定額献金によって教会を支えて下さっている信徒の方々に贈呈される。

また、150年祭を記念して婦人会より聖堂内のすべての白いイコン掛けが新しく手作りされ献納された。

婦人会が新調した白いイコン掛け



オリジナル・クオカード

台紙もオリジナル作成で、信徒の奉仕によって準備された。



消 息

・洗礼 十月二十七日(日)受洗

アンドレイ高橋聡樹 兄

代父母と共に 幾年も！



・永眠

十月十六日

ナデジダ平塚郁子 姉(98歳)

永遠の記憶【仙台正教会】



2024年度東日本主教区東北ブロック 誦経奉仕者研修会の開催

10月14日(月)㊿、金成ハリストス正教会を会場に、東北ブロック誦経奉仕者研修会が開かれた。約20名の信徒の参加者があり、四つのグループに分けて、それぞれ東北ブロックの各司祭が指導にあたった。実践講習の前には、ルカ田畑神父様より、今回のテーマとして「参拝者(聞いている側)が内容を理解できるように読む」ための注意

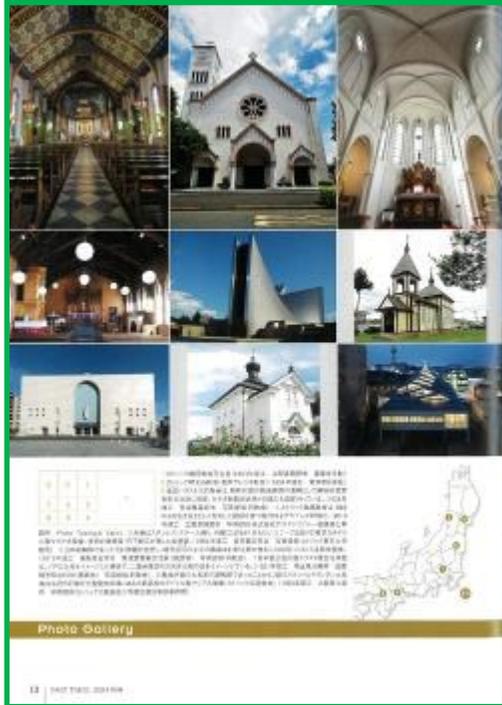
点のお話があった。金成教会の信徒会館や聖堂を使ったグループ実践では、参加者各々が声を出しつつ「よりよい誦経」とは何かを肌で学ぶことができた。特に、読む速度が遅くならないよう、かといって速すぎないように気をつけること、読んでいる内容をある程度把握すること、代表して祈禱文を読む者として十字をかいて祈ることなどなどを学びんだ。13時より15時までのあつという間の二時間だった。

東北ブロック

宣教委員会



10月17日(木)に東北ブロックの宣教委員会が一関正教会において開かれた。各宣教委員が集まり、開催された教会学校夏季修養会、聖歌研修会、誦経奉仕者研修会を振り返り、今後に生かすための話し合いが行われた。また来年3月11日を予定している宣教キャラバンについて内容の検討を行った。



東日本建設業保証株式会社の広報誌「EAST TIMES」の秋号に、金成正教会と共に白河正教会が紹介された。



全国の信用金庫が発行する「しんきんVISAカード」の情報誌「はれ予報」11月号に白河正教会が紹介された。

白河正教会だより



▲ 中新田正教会 収穫祭のモレーベン



▲ 境内地でバーベキューの祝賀会

中新田正教会への水口神父の巡回は9月は28日(土)と29日(日)、10月は25日(金)と26日(土)に行なわれた。それぞれ前日には勉強会と晩課、当日には聖体礼儀と月例パニヒダが執り行われた。また9月28日(土)にマカリイ若松祐吉兄の40日祭と納骨、10月26日(土)に月例パニヒダ共にマルファ工藤まさみ姉の一年祭が行われた。

10月26日(土)には恒例の「収穫祭」が開催され、モレーベンを行った後、境内地で祝賀のバーベキューを開いて懇親を深めた。

なお10月10日(日)の代式祈祷の後には、雨天のため中途になっていった境内地の植木の剪定が行われた。

中新田正教会だより



11月聖名日 モレーベンのご案内

11月17日(日)聖体礼儀後

11月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲ 聖致命女カペトリーナ



▲ 聖致命女ジノビヤ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
11/2	アルテミイ (アンティオキアの聖大致命者)	針生晶朗
11/5	イヤコフ (聖使徒)	道家和夫、横山 渉、若松勝也
11/8	ディミトリイ (フェサロニカの大致命者)	小野嘉耶、小幡楠城
11/9	カペトリーナ (聖致命女)	早坂美穂
11/11	アナスタシヤ (ロマの聖致命女)	大槻和恵
11/12	ジノビヤ (キリキヤの聖致命女)	遠藤宏美
11/14	ダミアン (メソポタミアの奇蹟者廉施者)	岡 潔、遠藤正義
11/14	キリエナ (聖致命女)	小堀彩華
11/20	ラザリ (ガリラヤの克肖神父)	小野寺洋
11/24	ビクトル (ロマの聖致命者)	土田貴一郎
11/25	イオアン (コンスタンチノープルの大主教金口)	高橋哲郎輔祭、勝又良樹
11/26	マネファ (カッパドキヤ・ケサリヤの聖致命女)	鈴木いく子
11/29	マトフェイ (聖使徒福音者)	針生勝通、土田定克、佐々木隆

献金報告 (6.9.25～6.10.26)

○聖堂内献金 九万九千九百四十五円
(10月27日以降の献金者は来月号に掲載)

○百五十周年祝金

匿名

本多弘子

方舟会総会

以下の日程で「方舟会」の総会を開催いたします。当日は代式祈祷となり、その後にクリスマスツリーのイルミネーション取り付け作業がありますので、ご奉仕もお願いします。作業終了後に総会を開始いたします。

日時：12月1日(日)

代式祈祷・イルミネーション
取り付け奉仕後



執事会報告

令和6年10月1日(火)

14時～15時30分 3階会議室

一、報告事項

- ・水道の件…9月10日(火)14時に保健所の立入調査。一階事務所の水道から残留塩素の反応が見られず、改善書を作成して提出した。

- ・教会車保険…弁護士保険と人身保障無制限に更新した。三千円ほどアップ。

- ・敬老会…感謝祈りと祝賀会。該当者参加は20人。御祝い品の手渡し19人分、訪問8人分、送付48人分。合計75箱

- ・会計報告 一般/収益
ピアノ調律を10月1日に行った。

二、協議事項

(1)仙台正教会一五〇周年記念祭について
・記念品クオカードのデザインと台紙について検討した。カードセッティングやパネル作りの作業を行なう。
当日、受付は設けない。

(2)降誕祭について

- ・12月1日の代式祈祷後にツリー電飾取り付け予定。作業後、方舟会総会

- ・降誕祭祝賀会は12月22日(日)降誕祭前の主日聖体礼儀の後に開催する。

- ・降誕祭前晩祷は12月24日(火)18時から開始。祈祷後の「ふるまい」を予定。

- ・降誕祭聖体礼儀12月25日(水)9時

(3)ナデジダ清水執事の引越しについて
・主人の転勤の関係で清水家は富山市へ11月に転居する。所属は仙台教会のままとする。執事や婦人会長の件は今後の課題となる。

三、その他

- ・契約駐車場(ピロテイ)の照明のON・OFFをタイマー式にする。

- ・契約駐車場の一部の車に隣接ビル工事で生じた鉄粉が積もって被害を与えたことが判明した。急遽、飛散防止シートが張られた。なお、車の補修などの交渉については教会は関知せず、鹿島建設と契約者の二者間で行われる。
・水口家のスカパーBSアンテナを隣接ビルの関係で境内の西端に移設することになった。正面入口部分にケーブル埋設工事。費用は鹿島建設が負担。



○感謝献金

木村憲治
後藤やすゑ、川股貞〔金成〕
内海エレナ

○会報献金

涌谷正教会
大立目潤子

○敬老会感謝献金

熊谷道子、高橋清太
勝又禮子、山寺しちよ

○洗礼献金

高橋聡樹

○埋葬献金

平塚洋(ナデジダ平塚郁子)
木幡眞剛(木幡和子)

○パニヒダ献金

西海枝家〔納骨〕
水口家〔納骨〕
木村富喜子
岡多喜子、大立目謙直、熊谷天津子
木村良治、八文字積子、熊谷道子
大立目潤子、
千葉弘樹、山田喜美雄、笹川皓、
高橋嘉彦
飯塚順子、水口敦子、小原淑子、
岡崎雅俊、永元道子

※敬称略

11月行事・奉事予定



2日(土) 徹夜袴はお休み 第2調

3日(日) 第19主日代式祈禱(10時30分)

書札 コリンフ後11:31~12:9

福音 ルカ6:31~36

※この日は代式祈禱となります。聖体礼儀は行われませんのでご注意ください。

◆ 聖堂清掃奉仕の日

3日~4日 信徒懇親会(追分温泉)

2~4日 水口神父白河出張

2日(土) 18時 主日徹夜袴

3日(日) 10時 主日聖体礼儀

4日(月) 13時 30分 特別講話

山下りんとラバケ画

5日(火) 定例執事会

9日(土) 主日徹夜袴 第3調(17時)

10日(日) 第20主日聖体礼儀(10時)

書札 ガラテイヤ1:11~19

福音 ルカ7:11~16

■ 月例パニヒダ

婦人会・方舟会

10日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)

16日(土) 主日徹夜袴 第4調(17時)

17日(日) 第21主日聖体礼儀(10時)

書札 ガラテイヤ2:16~20

福音 ルカ8:5~15

※ 子供感謝(七五三)・聖名日モレーベン

22~23日 水口神父中新田出張

22日(金) 16時 勉強会/17時 晩禱

23日(土) 10時 主日聖体礼儀

子供感謝祭/月例パニヒダ

23日(土) 主日徹夜袴 第5調(17時)

24日(日) 第22主日聖体礼儀(10時)

書札 ガラテイヤ6:11~18

福音 ルカ16:19~31

◇ ミニ講話

28日(木) フィリップの斎の始まり

30日(土) 徹夜袴はお休み 第6調

1日(日) 第23主日代式祈禱(10時30分)

30~1日 水口神父白河出張

11月の予定

【聖堂清掃奉仕】→3(日)

【月例パニヒダ】→10(日)

【婦人会・方舟会】→10(日)

【聖名祭感謝祈禱】→17(日)

【ミニ講話】→24(日)

【聖歌隊練習日】→3(日)、10(日)、17(日)[発声]、24(日)

【伝道会 18時】13(水)、20(水)、27(水)/6(水)はお休み



フィリップの斎

11月28日(木)より、降誕祭前の斎が始まります。この斎は、その前日である27日が聖使徒フィリップの記憶日であるため、「フィリップの斎」とも呼ばれます。

斎とは、食事の節制をとおして、自分の信仰・生活・人生を省みる時です。その「へりくだり」の心の中に、主・神は降って来てくださいます。降誕されるハリストスをお迎えする準備をしましょう。

